

平成26年7月30日

役員会会議次第

日本測量者連盟

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 題

(1) 平成25年度事業報告及び決算報告

(2) 平成26年事業計画(案)及び予算(案)

(3) 役員の改選

(4) その他

4. 閉 会

(資料 1)

平成25年度 事業報告

日本測量者連盟

年 月 日	内 容
平成25年5月4日～13日	F I G総会 (アブジャ) 出席者 西 修二郎 (総幹事)
平成25年7月22日	平成24年度 監事監査
平成25年7月26日	役員会 平成24年度事業報告・決算報告 平成25年度事業計画 (案)・予算 (案) 役員等の改選 F I G総会 (アブジャ) 等の報告 「F I G 2 0 1 4 クアラルンプール大会」の プレゼンテーション・懇談会 その他
平成25年11月11日	講演会 ①「日本のジオイド」 講師 宮原伐折羅 ②「除染関連事業の取組」 講師 馬場宇久

(資料 2)

平成25年度決算報告

日本測量者連盟

(自 平成25年4月1日至 平成26年3月31日)

1. 収入の部

(単位:円)

科目	決算額	摘要
	(B)	
団体会費	1,288,000	研修センター5万, 全測連30万, 測専教10万,
法人会費	105,000	水路協22.5万, 日測協30万, 測技協11.3万,
個人会費	66,000	地調協5万, 日調連15万(8団体)
預金利息	476	法人会費 21口(1口5,000円)
前年度繰越	963,960	個人会費 33口(1口2,000円)
合計	2,423,436	

2. 支出の部

科目	決算額	摘要
	(B)	
消耗品	0	
旅費	600,737	FIG総会・国際シンポジウム(ナイジェリア・アブジャ)
郵送料	43,800	請求書・会議案内発送・郵便振替手数料他
会議費	33,300	役員会・編集会議等
編集費	106,000	JFS・HP掲載原稿料
印刷費	0	
事務委託費	300,000	日本測量協会へ(事務所使用料を含む)
FIG会費	282,971	FIG本部への納入金
分科会費	0	分科会活動費
研究開発費	0	
資料収集費	0	資料収集他
雑費	5,240	
予備費	0	
合計	1,372,048	

次年度繰越金

収入	支出	繰越金
2,423,436	1,372,048	1,051,388

(資料 3)

平成26年度 事業計画(案)

日本測量者連盟

年 月 日	内 容
平成26年6月15日～22日	FIG総会(クアラルンプール) 出席者 村井 俊治(会長) 中堀 義郎(総幹事) 海津 優 (7・9分科会委員長)
平成26年7月23日	平成25年度 監事監査
平成26年7月30日	日本測量者連盟編集委員会
平成26年7月30日	役員会 平成25年度事業報告・決算報告 平成26年度事業計画(案)・予算(案) 役員等の改選 その他
平成26年7月30日	活動状況報告会 FIG総会(クアラルンプール)報告 ①「FIG会議に参加して」 村井 俊治 ②「FIG国際会議の概要」 中堀 義郎 ③「測地関連トピックスについて」 宮原 伐折羅 ④「Young Surveyor Conference」 藤井 十章
平成27年3月	日本測量者連盟編集委員会
	JFS講演会開催(予定) ニュースレター発刊(毎月予定)

(資料 4)

平成26年度 予算(案)

日本測量者連盟

(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

1. 収入の部

(単位:円)

科目	平成25年度	平成26年度	増減額	摘要
	(A)	(B)	(B)-(A)	
団体会費	1,288,000	1,288,000	0	研修センター5万, 全測連30万, 測専教10万
法人会費	115,000	105,000	△ 10,000	水路協22.5万, 日測協30万, 測技協11.3万,
個人会費	76,000	68,000	△ 8,000	地調協5万, 日調連15万(8団体)
預金利息	700	500	△ 200	法人会費 21口(1口5,000円)
前年度繰越	963,960	1,051,388	87,428	個人会費 34口(1口2,000円)
合計	2,443,660	2,512,888	69,228	

2. 支出の部

科目	平成25年度	平成26年度	増減額	摘要
	(A)	(B)	(B)-(A)	
消耗品	10,000	10,000	0	文房具・封筒 その他
旅費	900,000	876,682	△ 23,318	FIG総会・国際シンポジウム(マレーシア・クアラルンプール)
郵送料	50,000	50,000	0	請求書・会議案内発送・郵便振替手数料他
会議費	30,000	30,000	0	役員会・編集会議等
編集費	100,000	200,000	100,000	JFS・HP掲載原稿料
印刷費	0	0	0	
事務委託費	300,000	300,000	0	日本測量協会へ支払
FIG会費	230,000	250,000	20,000	FIG本部への納入金
分科会費	200,000	0	△ 200,000	
資料収集費	80,000	0	△ 80,000	
雑費	50,000	30,000	△ 20,000	
予備費	493,660	766,206	272,546	
合計	2,443,660	2,512,888	69,228	

3. 特別積立金

科目	前年度積立金	繰越金	増減額	摘要
	(A)	(B)	(B)-(A)	
積立金	2,000,000	2,000,000	0	東京都民銀行定期預金

(資料 5)

平成26年 7月30日

役員等の交替について (案)

日本測量者連盟
(順不同・敬称略)

【理事】

の せ みさお
◎ 野 瀬 操

【(一社)全国測量設計業協会連合会会長】
(前任者:本 島 庸 一)

【総幹事】

なか ほり よし ろう
◎ 中 堀 義 郎

【(公社)日本測量協会常任参与】
(前任者:西 修 二 郎)

【編集委員】

各分科会委員長は編集委員を兼ねる

日本測量者連盟役員等名簿

平成26年 7月30日現在

(順不同・敬称略)

名 誉 会 長

顧 問	井 上 英 二	元 (一社) 地図協会理事長
〃	金 窪 敏 知	元 (一財) 日本地図センター理事長
〃	長谷川 裕 之	国土地理院企画部測量指導課長
〃	中 川 一 郎	元 (公社) 日本測量協会会長
〃	大 竹 一 彦	前 (一社) 地図調製技術協会会長
参 与	星 埜 由 尚	(公社) 日本測量協会副会長
〃	大 嶋 太 市	法政大学名誉教授
会 長	村 井 俊 治	(公社) 日本測量協会会長
副 会 長	野 瀬 操	(一社) 全国測量設計業協会連合会会長
理 事	上 條 勝 也	(一財) 測量専門教育センター会長
〃	瀬戸島 政 博	(公社) 日本測量協会専務理事
〃	加 藤 茂	(一財) 日本水路協会常務理事
〃	高 橋 庄 三	(一財) 全国建設研修センター専務理事
〃	大 塚 冀 一	(一社) 地図調製技術協会会長
〃	津 澤 正 晴	(公財) 日本測量調査技術協会理事・事務局長
〃	林 千 年	日本土地家屋調査士会連合会会長
監 事	宮 崎 清 博	(一社) 全国測量設計業協会常務理事・事務局長
〃	岩 崎 昇 一	(一社) 地図調製技術協会理事・事務局長

第1分科会委員長		
第2分科会委員長	馬場 義男	(一財) 測量専門教育センター理事
第3分科会委員長	平田 更一	日本大学非常勤講師
第4分科会委員長	金澤 輝雄	(一財) 日本水路協会審議役
第5分科会委員長	塚原 弘一	(株) パスコ生産改革本部理事
第6分科会委員長	岡本 修	茨城工業高等専門学校 電子制御工学科准教授
第7分科会委員長	海津 優	(一財) 日本建設情報総合センター システム部部長
第8分科会委員長	谷下 雅義	中央大学 理工学部都市環境学科教授
第9分科会委員長	海津 優	(一財) 日本建設情報総合センター システム部部長
第10分科会委員長	佐田 達典	日本大学 理工学部交通システム工学科教授

編集委員長 中堀 義郎 (公社) 日本測量協会常任参与

編集委員 各分科会委員長

総幹事 中堀 義郎 (公社) 日本測量協会常任参与

事務局局長 高橋 谷造 (公社) 日本測量協会常務理事・事務局長

局員 木下 信也 (公社) 日本測量協会総務部部長代理



FIG JFS お問い合わせ

日本測量者連盟	会長挨拶	加盟団体	法人会員
国際測量者連盟	FIG情報	分科会情報	入会案内

■ 新着情報

・2014年4月

「第2分科会情報」

・「[学生数と教員の品質の相互作用 - 経緯と現状](#)」 馬場義男 **New!**

「第5分科会情報」

・「[統計検定か不確かさ](#)」 塚原弘一

「第4分科会情報」

・「[国際水路期間の現状と将来](#)」 金澤輝雄

「JFS情報」

・「[JFS講演会議演会内容](#)」 JFS事務局

「第3分科会情報」

・「[ISO/TC211専門会議\(釜山\)について](#)」 平田更一

● 会員のひろば

◆ [ドクター村井の"新養生訓" 7月号更新](#)
New!「無農薬タミをいませんか?」

◆ [「フィリピン・ボホール島訪問記」](#) 金澤輝雄

FIG マレーシア大会報告

総幹事 中堀 義郎

1. 開催場所 マレーシア国クアラルンプール市コンベンションセンター
2. 開催日時 2014 年 6 月 16～21 日
3. 組織委員会 世界測量者連盟 (FIG) 及び マレーシア公認測量士協会 (PEJUTA)
4. 参加者数 99 か国から 2500 名以上 (4 年前のシドニー大会より 300 名程度多い)
日本から 27 名が参加 (スポンサー企業から 9 名、JFS 加盟団体から 11 名、地理院から 3 名)
5. 会議の主な内容

開会式にマレーシア国ナジブ・ラザク首相が来賓として参加され、開催国の代表として世界から集まった FIG の参加者に歓迎の挨拶をされた。マレーシアでは、国家における測量の重要性と FIG の活動が高く評価されていることが感じられた。

◎総会での主な議事は次の通り。

○2016 年の会費

会員協会の 2016 年の会費は、昨年決定された 2015 年の会費と同じく会員協会の会員 1 人当たり €4.48 に据え置くことになった。

○投票権にスライド制が導入された

従来 1 会員協会は、1 票の投票権を持つ

新規定 1 会員協会が 1 つの議決に投じることのできる票数は、次の通り

- a) 最近の会費納入時の会員数が 999 名以下の場合、1 票
- b) 最近の会費納入時の会員数が 5500 名以上の場合、3 票
- c) 上記以外の場合、2 票

JFS の会員数は 445 名で、投票権は 1 票

○会長及び副会長選挙

2015-2018 の会長に現副会長でギリシャ出身のクリッシー・ボツィオウ博士が選ばれた。副会長は定員が 4 名で、その内 2 名の任期満了に伴う選挙が行われ、現副会長でドイツのシュタイガー教授 (57 歳) 及び FIG アフリカタスクフォース委員長でイギリスのドゥマシエ女史が選ばれた。

○2017 年の作業週間及び 2018 年の国際会議開催地

2017 年の作業週間開催地には、フィンランドのヘルシンキ、ヴェトナムのハノイ、ネパールのカトマンズが立候補し、投票でヘルシンキが選ばれた。また、2018 年国際会議の開催地の立候補はトルコのイスタンブールだけであり、開催が承認された。尚、2015 年と 2016 年の作業週間はブルガリアのソフィア及びニュージーランドのクライストチャーチで開催が決まっている。

○分科会 (Commission) 1-10 及び青年測量者ネットワークの委員長が任命された。

○欧州及び米国から “The Global Surveyors Week” に関する提案があった。

◎講演会

分科会が主催する技術講演会で発表された論文総数は約 470 件。その他、UN との共同セッション、タスクフォースの講演会、全体集会等すべて含めると、講演総数は約 550 であった。

投稿論文数

